

4. 地域デザイン研究科

(1) 地域デザイン研究科の教育目的と特徴	4-2
(2) 「教育の水準」の分析	4-3
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	4-3
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	4-8
【参考】データ分析集 指標一覧	4-9

(1) 地域デザイン研究科の教育目的と特徴

1. 地域デザイン研究科地域デザイン専攻の教育目的は、地域の文化と経済を総合的に発展させ、地域創生に主導的に携わる人材を養成することである。
2. そのために、本研究科では主たる教育研究分野として「芸術」「フィールドデザイン」「経済・経営」の3分野をおく。それぞれの分野における専門的教育研究を深めると同時に、これらの3つの分野の連携による教育研究をすすめることを教育理念とし、学生が専門とする分野にとどまらず他の分野の知識や方法論を学び、視野を広げることで独自の地域創生に対する視点をもつ人材となる教育研究を行う。
3. 上記の目的を達成するために、専攻に芸術デザインコースと地域マネジメントコースを設置し専門的研究をすすめる一方、共通科目および大学院教養科目の履修で専門分野以外の基礎的な教育を行う。
4. 専門科目群を地域研究科目群、マネジメント研究科目群、芸術研究科目群、経済・経営研究科目群に分類し、3つの群からの履修を必須とすることで、広い視野をもって地域創生に対する視点をもつ人材となる教育研究を行う。

(2) 「教育の水準」の分析

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

<必須記載項目1 学位授与方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された学位授与方針（別添資料 7504-i1-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目2 教育課程方針>

【基本的な記載事項】

- ・ 公表された教育課程方針（別添資料 7504-i2-1）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目3 教育課程の編成、授業科目の内容>

【基本的な記載事項】

- ・ 体系性が確認できる資料（別添資料 7504-i3-1～2）
- ・ 自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料（別添資料 7504-i3-3～5）
- ・ 研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（別添資料 7504-i3-6）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 履修においては、共通科目の選択必修を含むカリキュラムマップを作成し履修のガイドとしているほか、研究目的にあわせた履修モデルを提示している。

[3.1]

- 専門分野での修士論文作成や修了制作を通じて自律的に課題を発見する能力と課題解決のための研究力を培う科目として、「修士論文指導科目」を置き、特別演習Ⅰ、特別演習Ⅱ、課題研究Ⅰ、課題研究Ⅱを配置している。[3.2]

佐賀大学地域デザイン研究科 教育活動の状況

- 1年次末に研究進捗に関する報告会、2年次10月（秋季入学者は2年次4月）に修士論文の中間報告会を開催し、研究科の教員が参加している。[3.3]

<必須記載項目4 授業形態、学習指導法>

【基本的な記載事項】

- ・ 1年間の授業を行う期間が確認できる資料（別添資料7504-i4-1）
- ・ シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料（別添資料7504-i4-2～3）
- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（別添資料7504-i4-4）
- ・ インターンシップの実施状況が確認できる資料
2016～2017年度はインターンシップの実施状況はなく、2017年12月13日に「佐賀大学大学院地域デザイン研究科におけるインターンシップ授業科目の履修について」を制定し2018年度から、インターンシップを共通科目として単位認定できるようした。
（別添資料7504-i4-5）、（別添資料7504-i3-1）（再掲）
- ・ 指標番号5、9～10（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 「地域デザイン総合演習」は、芸術デザインと地域マネジメントコースの学生が同時受講し、各々専門分野での研究テーマに関する発表とそのテーマに関連させ地域デザインについてのディスカッションを教員複数名と学生で行う。このことにより、コースを超えて、専門分野の学生と教員が、地域デザインという視点のもとで、自らの研究に他分野の考え方を活かすことができる。（別添資料7504-i4-6） [4.1]

<必須記載項目5 履修指導、支援>

【基本的な記載事項】

- ・ 履修指導の実施状況が確認できる資料（別添資料7504-i5-1～2）
- ・ 学習相談の実施状況が確認できる資料（別添資料7504-i5-3）
- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（別添資料7504-i5-4～5）
- ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料

佐賀大学地域デザイン研究科 教育活動の状況

(別添資料 7504-i5-6)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 指導教員は、主指導1人、副指導2人として3人体制としており、副指導のうち1名は芸術デザインコースの学生に対しては地域マネジメントコースの教員、地域マネジメントコースの学生に対しては芸術デザインコースの教員を配置し、学習・研究及び生活について専門分野とは異なった視点からアドバイスができるようにしている。[5.1]
- 研究指導実施報告を学期ごとに実施し、主指導教員と副指導教員2人の確認とアドバイスを記載している。[5.2]
- 共通科目として、インターンシップa(1単位)、インターンシップb(2単位)、を開設し、インターンシップを条件により単位認定を受けることができるようにしている。(別添資料 7504-i4-5) (再掲) [5.3]

<必須記載項目6 成績評価>

【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準(別添資料 7504-i6-1~2)
- ・ 成績評価の分布表(別添資料 7504-i6-3)
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料(別添資料 7504-i6-4~5)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 成績評価基準はシラバスに明示している。研究科の特徴として、作品制作活動、地域での実習活動を評価の観点に入れる科目がある。また作品制作を主としている学生についても、経営・経済の学修評価は授業での報告・レポートを厳格に評価している。[6.1]

<必須記載項目7 卒業(修了)判定>

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定(別添資料 7504-i7-1~2)
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業(修了)判定の手順が確認できる資料

佐賀大学地域デザイン研究科 教育活動の状況

(別添資料 7504-i7-3)

- ・ 学位論文の審査に係る手続き及び評価の基準 (別添資料 7504-i7-4)
- ・ 修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料 (別添資料 7504-i7-3) (再掲)
- ・ 学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料 (別添資料 7504-i7-5)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 修士論文要領によって、修士論文および修了制作の評価基準を定めていることに加えてルーブリック評価を実施し審査員による評価の共通事項として活用している。[7.1]
- 修了制作は、制作作品の発表の場として本学美術館等で修了制作展を開催している。2019年度は芸術地域デザイン学部の第1期卒業生の制作展と併せて77点の作品を展示し2020年2月15日から2月25日まで開催した。
(別添資料 7504-i7-6) [7.1]

<必須記載項目8 学生の受入>

【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料 (別添資料 7504-i8-1)
- ・ 入学者選抜確定志願状況における志願倍率 (文部科学省公表)
- ・ 入学定員充足率 (別添資料 7504-i8-2)
- ・ 指標番号1～3、6～7 (データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- アドミッション・ポリシーは学生募集のパンフレットにも記載し、受験生に周知している。また、社会人枠、留学生枠を設定し多様な学生を受け入れている。秋季入学を実施しており留学生の入学希望に対応している。[8.2]

<選択記載項目A 教育の国際性>

【基本的な記載事項】

- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数 (別添資料 7504-i4-4) (再掲)
- ・ 指標番号3、5 (データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 英語による入試を実施し、英語を学術上使用する言語としている学生を受け入れている。[A. 1]
- 英語による入試で入学を希望する学生には、入学後に英語で研究指導が可能な教員の分野の紹介や入学後の履修モデルを参考にできるようにしている。また、修士論文についても英語論文を認めている。[A. 2]

<選択記載項目B 地域連携による教育活動>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 地域の文化と経済を総合的に発展させ、地域創生に主導的に携わる人材を養成すること目的としており、フィールドデザイン分野では、九州の自然と信仰に培われた地域社会・文化史を「ジオパーク構想」の観点から調査研究を行うこととし、例えば島原半島ジオパーク協議会と連携し雲仙・島原史多文化共同研究を継続的に実施している。[B. 1]

<選択記載項目E リカレント教育の推進>

【基本的な記載事項】

- ・ リカレント教育の推進に寄与するプログラムが公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所（別添資料 7504-iE-1）
- ・ 指標番号 2、4（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 入試において社会人枠を設定し、入学した社会人学生に対して夜間開講および長期履修を認めており、履修モデルも定めている。これまで2017年4月入学に2名、2018年4月入学に2名、2020年4月入学に1名の入学実績がある。 [E. 1]

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

<必須記載項目1 卒業（修了）率、資格取得等>

【基本的な記載事項】

- ・ 標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 7504-ii1-1）
- ・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料 7504-iii1-1）（再掲）
- ・ 指標番号 14～20（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 芸術表現コースの学生においては、2018年日本クラフト展で学生賞受賞や2019年佐賀美術協会展の彫塑部門で最高賞（美術協会賞）を受賞するなど実績に基づく教育成果が出ている。[1.2]

<必須記載項目2 就職、進学>

【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 21～24（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 就職希望者の就職率は100%である。地域の活性化をマネジメントする事業家や自治体、企業等の組織において地域創生を牽引していく人材育成という点から就職先をあげれば、地方公務員、銀行、建設系デザイン企業、情報通信業に就職している。他には学校教員もいる。また、他大学の大学院（博士課程）進学もいる。 [2.1]

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標 番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍 状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する 科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数 (常勤、常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業 データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
4. 卒業後の進路 データ	23	職業別就職率	職業区分別就職者数／就職者数合計
	24	産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 部分の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。

※ 部分の指標（指標11）については、研究活動の状況に関する指標として活用するため、学部・研究科等ごとの現況調査票（教育）の指標には活用しません。